

【自由意見などへの回答（都川まちづくりセンター）】

- Q. まちづくり総合交付金に面積割をつくってもらったが、「寒冷地加算」を追加で検討してもらいたい。
- A. 今後の制度見直しの検討会の中で議論されることとなっています。委員会でもご意見を共有させていただきました。
- Q. あいのりタクシーは利用者が多くなっている。買い物や病院だけでなく、規制を緩めて、娯楽などにも利用できるようにしてもらいたい。ひな人形を見に行くのはだめだった。
- A. まずはまちづくり委員会の中で、なるべく多くの方々が利用できるような効率的な使い方になるよう協議していただけたらと思います。また、必要に応じ増額できるように担当課にも要望します。
- Q. 補助金の「ひもづき」を緩めてもらいたい。市街地と周辺部では環境が違うため、同じ制度でも負担が違う。
- A. 補助金も様々あり、具体的には各所管の部局で検討されますが、市全体の認識として使いやすい制度設計に努めるよう働きかけます。
- Q. 地域で子どもたちの行事や居場所の取組を行っても、移動に距離があるため子どもたちの送迎が必要。その対応をどうするのか。
- A. 子どもさんの移動については責任や保証の問題もあるので、基本的には保護者さんに頼らざるを得ないと思われま。地域でのネットワークなどで取り組めないか研究したいと思います。
- Q. 地域の子どもたちに地域の良さを知ってもらって卒業してもらいたい。伝える機会があれば案内したい。地域では企画力がないので教えてもらいたい。
- A. 旭町各地域においてまちづくりセンターと連携した取組が活発に行われていると伺っています。さらに機会を増やす取組を支所とも連携し取り組んでいただけるよう、支所に要望していきます。
- Q. 学校教育の中のテーマで地域を回ってもらい、ふるさと教育の一環で学校に取り組んでもらいたい。
- A. 教育委員会を通し地域の学校に伝えるよう要望します。
- Q. 近くの病院医院において、十分な駐車場を確保してほしい（市外含む）。
- A. 過去に福祉環境委員会で協議されたことがあり、改めて所管事務調査をして、課題について市と共有いたします。
- Q. インフラの整備が進み、しまね医療情報ネットワーク（愛称：まめネット）が活用できる環境を望む。
- A. 所管事務調査をして、課題について市と共有いたします。
- Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、地元就職対策は。
- A. 浜田市においては市内の高等学校に対し、雇用推進協議会などと連携して地元企業への就職支援が行われています。また、島根県立大学では卒業後県内就職につながるよう県内高校からの入学者の増加を図る「入試制度改革」を実施されたところです。

Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、UI ターン対策は。

A. 都会地に暮らす方を対象とした相談会や仕事体験ツアー、ウェブサイト「働こう@はまだ」による地元企業の魅力発信など、若者の移住・定住につながる支援が行われています。また、県においても県外流出の抑制に力を入れておられます。産業建設委員会では上記の状況を踏まえ、人手不足・担い手不足に対して調査するとともに、機会を捉え委員会代表質問などで積極的に働きかけてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800